

演習について

令和6年度より法定研修体系の見直しがなされ、新カリキュラムにより研修を実施いたします。
各事例テーマの科目における「疾患別ケア」の内容を踏まえ、各自が提出した事例の分析、発表、意見交換等を通じて、適切なアセスメントを行う際の留意点や居宅サービス計画の作成等における留意点を理解、再確認することを目的とし、演習を行います。

これにより、本研修では以下の事例テーマより「適切なケアマネジメント手法」に基づく事例テーマ(5テーマ)のうち、1つの事例テーマのみについて、指定様式A-1(事例概要)に記入し、提出していただきます。

(記入して提出していただく事例概要の事例テーマの決定方法は次頁にて記載します。)

事例の提出は振り返りの点からも重要であるため、原則持ち寄り事例を用います。

また、自身が事例を提出しない他の事例テーマ(※を含む全7テーマ)の演習では、各自が担当している(又は担当していた)事例をその場で思い浮かべながら進めていきます。

=事例テーマ=

第4章-2	脳血管疾患のある方のケアマネジメント
第4章-3	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント
第4章-4	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント
第4章-5	心疾患のある方のケアマネジメント
第4章-6	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

※ 第4章-7 看取り等における看護サービスの活用に関する事例

第4章-8 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

《事例テーマの決定方法》

受講申込時に、5つの事例テーマのうちご自身が提出を希望される3つのテーマ(第1～第3希望)を選択してください。提出いただく事例テーマは、希望を考慮した上で実施機関が決定し、受講決定通知メールにて通知いたします。令和6年7月9日(火)15時～17時に当協会からのメールをご確認ください。(送信アドレス：shizucm-kensyu@yr.tnc.ne.jp)

《指定様式の作成と提出方法・期日》

- ・受講決定通知メールに記載の提出いただく事例テーマについて、指定様式A-1(事例概要)をホームページよりダウンロード、作成し、期日までに郵便にて提出してください。

ホームページ：

- 演習事例様式の提出について→ 指定様式A-1(事例概要)

- ・指定様式は、作成済みの「居宅サービス計画書」、「介護予防サービス・支援計画書」、「施設介護サービス計画書」等をもとに作成してください。

また、作成時には、次の《各事例テーマに関するキーワード一覧》を参考にし、内容が当該テーマに沿っているかの確認をお願いします。

- ・現在介護支援専門員として実務に就いていない方は、過去に担当された事例を思い起こし、指定様式を作成してください。
- ・指定様式は、ホームページよりダウンロードし、作成の上、プリントアウトし、提出期間内に郵送にて提出してください。(手書きの場合は、コピーを提出してください)
- ・提出期間内に、提出がなされなかった場合、受講は不可となります。

《演習事例様式提出期間》

令和6年7月9日(火)15時～17時(受講決定通知メール受理后)

～令和6年8月15日(木)17時まで

【提出先(郵送先)】

〒420-0856

静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館 4階

特定非営利活動法人 静岡県介護支援専門員協会(受講する)研修名 担当

***演習事例様式提出**と朱書き、枠で囲んでください。

《各事例テーマ（4章-2～4章-6）に関するキーワード一覧》

2 脳血管疾患のある方のケア

脳血管疾患、目標血圧、室内気温の調整、気温差の改善、高脂血症の管理、糖尿病等の管理、服薬支援、脱水予防、機能訓練、障害の受容、活動と参加、コミュニケーション能力、言語訓練、コミュニケーション手段の検討、役割、リスク管理、食事と栄養、転倒の予防、セルフマネジメント、地域連携パス（クリティカルパス）、レスパイト、フレイル

3 認知症のある方のケア

認知症、本人を取り巻く人との関係性、意思決定支援、かかりつけ医や専門職等、役割の継続、リハビリテーション、コミュニケーション、清潔に関する状況、服薬管理、水分の摂取、排せつの支援、活動と参加、転倒の予防、誤嚥の予防、行動・心理症状、MCI（軽度認知障害）、若年性認知症、地域連携パス（クリティカルパス）、認知症初期集中支援チーム、認知症サポーター、パーソン・センタード・ケア

4 大腿骨頸部骨折のある方のケア

大腿骨頸部骨折、転倒予防、骨粗鬆症の予防、服薬管理支援、継続的な受診、運動・活動の支援、歩行機能訓練、リハビリテーションの継続、ADL・IADLの回復、日常生活環境の評価、食事と栄養の確保、室内環境、セルフマネジメント、フレイル、地域連携パス（クリティカルパス）

5 心疾患のある方のケア

心疾患、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心臓弁膜症、急性心不全、慢性心不全、再入院の予防、服薬支援、併存疾患の把握、リスク評価、体重の管理、塩分量・水分量のコントロール、血圧の管理、急性増悪の予防、感染症の予防、気温差の縮小、リハビリテーションの実施、入浴習慣の支援、休養・睡眠の支援、禁煙の支援、EOL（エンドオブライフ）に向けた準備、地域連携パス（クリティカルパス）

6 誤嚥性肺炎の予防のケア

誤嚥性肺炎の予防、不顕性誤嚥、誤嚥リスクの評価、かみ合わせ、咀嚼、義歯、咳、呼吸、口腔ケア、摂食嚥下機能、口腔乾燥、フレイル予防、地域連携パス（クリティカルパス）

重要！「倫理的配慮について」

事例に含まれる個人情報について、特定の個人を識別されないよう記述に十分な配慮が必要です。ホームページに掲載の「個人情報の取扱いについて」を熟読の上、指定様式を作成してください。